

# アートのまち・長久手を目指して 作品がつなぐ、地域の絆

食欲の秋、スポーツの秋、そして行楽の秋。木々が色づく季節は、芸術を楽しむにもぴったりだ。「ながくてアートフェスティバル(NAF)」は芸術に親しみ、気軽にアート体験ができるイベントとして、今年で11回目を数える。まちの各所がギャラリーとなる3週間。秋の訪れを感じながら、アート散策を楽しもう！

## 秋の風物詩が今年も開催！ 交流を育むアートフェスに

「ながくてアートフェスティバル」が、今年も開催を間近に控えている。市内の公共施設や寺院、飲食店、小売店など約30カ所が、ギャラリーへ姿を変え、「まちNAF」や「どこでもアート」のほか、気軽にアートを体験できる「アートDEあそほ」など、まちはアートに包まれる。またオープニングイベントの目玉「アトリエマーケット」では、地域内外の作家によるハンドメイド作品が多数並ぶことから、女性を中心に人気を集めている。

11回目を迎える今年のテーマは、交流元年。「作家と会える・話せるアートフェス」を目指し、さまざまな試みに挑戦する。そのひとつが、フェスティバル会場をバスと徒歩で巡る「みらっせツアー」である。行く先々で作品を鑑賞しながら、作家から解説を受けられるほか、長久手市産の米を使ったオムライスづくりや、藍の葉染めなどが体験できる。

「作家によって考えはさまざまですが、私は作品に対する思いを来場者と共有したい。作品を見た方がどんな感想をお持ちになり、何を感じたかもお聞きしたいです。

## 芸術家が住まうまち・長久手 アートを通した地域交流を

地域の秋の風物詩として定着しつつある「ながくてアートフェスティバル」は、2007年に始まった。愛知県立芸術大学がある長久手は、芸術家が多く住むことで知られる一方、作品発表の場や地域住民との交流が少ないことが長年の課題として挙げられていた。「文化活動の拠点である文化の家が1998年にオープンしましたが、スペースが限られていて、発表の場としては十分ではありませんでした」と坂下さんは

当時を振り返る。

地元アートシーン活性化への思いは年々高まりを見せ、2000年には長久手町(当時)在住の芸術作家が集まる「長久手美術作家の会」が設立。日本画や油彩画、現代アートなどを発表する「長久手の里美術展」が開催される。

2005年には愛知県立芸術大学によるアートプロジェクト「字大学によるアートプロジェクト」字界へ「隘路のかたち」が実施。文化の家や旧岩作商店街を会場にオブジェやインスタレーションなどが展示され、高い評価を受けた。美術展やイベント開催の成功により、地域在住の作家や愛知県立芸



家族で楽しめるイベントもいっぱいだね！

長久手市広報ナビゲーターの「クーティングナー」

ね」と話すのは、ながくてアートフェスティバルの実行委員で、草木染め作家の坂下恵子さん。期間中は自身の工房「恵工房」で作品を展示するほか、草木染め体験も実施する。「来場者がつくったものを取り入れて、自身の新たな作品とすることも」と、アートを通した交流を楽しむ。

近年は、体験型のワークショップも充実。アートDEあそほ」と題し、期間中には31のワークショップが長久手市文化の家で開催される。ワイヤーアートでシャボン玉を飛ばしたり、スキを使ったり、つくったりと、親子で楽しめる内容



ながくてアートフェスティバル2017の実行委員と、出展者のみなさん。運営会議ではまちづくりやアートへの熱い思いが飛び交う

術大学の教員が集まり、発起人会が結成。2007年、ながくてアートフェスティバル実行委員会が設立した。同年、1回目が開催。当初は作家の工房やアトリエを会場としていたが、回を重ねることに規模は拡大。近年では、長久手市文化の家だけでなく来場者が1万6000人を超えるほどに成長を遂げている。

## 若手の声を生かし イベントにさらなる活気を

若い世代が運営に関わるようになり、2012年には「アトリエマーケット」がスタート。今年で6回目と歴史は浅いものの、今では、

多くの来場者が集うフェスティバルのメインイベントとなった。マーケットでは、アクセサリーやニットをはじめ、洋服、オブジェなど多種多様な作品を販売。近年は飲食ブースも増えるなど、さらなる魅力が来場者の心を掴む。「ハンドメイド作品を入口に、アート

に関心を持ってもらえたら、各店舗は、作り手と来場者が交流を育む場にもなっている」と話すのは、アトリエマーケットの運営を担う酒井理江さん。今後は長久手市文化の家のエリア一帯でマーケットを開きたいと夢が膨らむ。一部の会場で味わえるフェス

ティバル限定フードも、要チェック。地元有名店の和菓子のほか、パンやコーヒー、アイスクリームなどが登場する。見た目かわいらしく、SNS映えも期待できそうだ。日頃の運動不足が気になるなら、自転車や徒歩で会場を訪ねるのもいいだろう。会場10カ所を巡ると、抽選で景品がもらえるスタンプラリーは今年も実施される。「地元の人であれば、会場を1日ひとつ以上回って全会場制覇してほしい」と坂下さんは来場を呼びかける。見慣れたまちの風景が、秋色とアートに染まる3週間。新たなまちの魅力を感じてほしい。

## ひまわりくらぶがチョイス! 気になるスポット

- A 長久手市文化の家**  
館内のあちらこちらに作品を展示。ライブペインティングや映像作品も!  
会場 長久手市文化の家・展示室(長久手市野田農201)ほか  
9月30日(土)~10月22日(日)  
問い合わせ 0561-61-3411
- B Satisfactory**  
愛知県出身の若手アーティスト6人によるグループ展  
会場 SIENA COFFEE FACTORY(長久手市蟹原907)  
9月30日(土)~10月22日(日)  
問い合わせ 0561-78-6636
- C 恵工房**  
作品展示のほか、長久手市の植物を使った草木染めワークショップも実施  
会場 恵工房(長久手市仏が根718)  
10月12日(木)~10月21日(土)  
問い合わせ 090-8155-0066
- D 斎藤誠展**  
紙を使った立体作品を展示。来場者には自転車の貸し出しを行う  
会場 丸久自転車店(長久手市前熊前山16)  
9月30日(土)~10月22日(日) 第1・3日曜休み  
問い合わせ 0561-63-0001



※写真は過去の様子、作品です

## Information

## ながくてアートフェスティバル2017

2017年9月30日(土)~10月22日(日)  
会場 長久手市内各所  
※期間中は、展示会場を巡るスタンプラリーを実施  
※詳細はウェブサイトまたは長久手市文化の家ほか配布中のアートマップをチェック!

### オープニングイベント

9月30日(土)、10月1日(日)

#### アトリエマーケット ※入場無料

会場 長久手市文化の家 東テラス(2階屋外)

#### オープニングコンサート ※入場無料

会場 長久手市文化の家

9月30日(土) 11時/13時 オープニングコンサート GNP

10月1日(日) 10時半/14時 武元トリオ

13時~13時半 音楽工房CON合唱隊 with 歌おう会

問い合わせ 0561-61-3411(長久手市文化の家)

WEB <http://nagakuteartfestival.com/>